



中小企業活性化フォーラム

経営危機を乗り越える、
経営改善と事業再生への挑戦



中小企業活性化協議会

現在、沖縄県内の中小企業・小規模事業者は、コロナ融資の返済に加え、原材料価格の高騰、人手不足など厳しい経営環境に直面しています。そこで、経営環境に不安を抱える事業者の円滑な支援を促すため、令和8年2月3日、中小企業振興会館にて「中小企業活性化フォーラム」を開催しました。

前半は、中小企業庁の取組や沖縄県中小企業活性化協議会（以下、活性化協）の支援状況について説明し、実際に活性化協を活用して経営改善に取り組んだ（株）ハッピーフィールド代表取締役の福原英一氏、農業生産法人（株）クックソニア代表取締役の芳野幸雄氏に、活性化協を利用したきっかけや経営改善の取組についてご講演いただきました。

後半のトークセッションでは、活性化協統括補佐の内間春奈氏をファシリテーターに、福原氏、芳野氏、そして支援者であるおきなわ経営サポート（株）の神谷繁氏、うりずん経営パートナーズの瑞慶山大氏が登壇し、活性化協に相談する前後での心

境の変化や経営改善・事業再生に早期に取り組む重要性について意見が述べられ、活発なセッションとなりました。今後関係機関と連携し、経営改善・事業再生の支援に取り組んでまいります。



県内事業者、支援機関等から約80名が参加



トークセッションの様子

経営改善・事業再生に

関するご相談はこちらから
(沖縄県中小企業活性化協議会HP)



お問合せ先

内閣府沖縄総合事務局

経済産業部 中小企業課

☎098-866-1755



沖繩のくらしは、 船に支えられている

「海事教室」 in 若狭小学校

沖縄のくらしを支える海上輸送。その大切さを学ぶ「海事教室」を、令和7年12月22日若狭小学校の5年生を対象に開催しました。

当日は、沖縄水産高等学校の先生および生徒を講師に招き、日本の物流や海運の役割、船員の仕事について分かりやすく学びました。

座学による事前学習に加え、久米商船（株）のご協力のもと、泊港に停泊中のフェリーを実際に見学。船内や車両甲板を間近で体験し、海上輸送の重要性を実感しました。

参加した児童からは「船がたかさんの人や物を運んでいることがよく分かった」「こんなに大きな船の中を見られて驚いた」といった声が聞かれ、実体験を通じた学びの多い一日となりました。

今後海事教室の開催を通じて、子どもたちが海や物流、そして将来の仕事について考えるきっかけとなるよう取り組んでまいります。

お問合せ先

運輸部 総務運航課

☎098-866-1836



座学の様子



船橋の見学



車両甲板の見学